□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

◆□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

◆□□
□□□□□□□□□□□□□□←□□□□□□□□□□□□□□□

◆□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

◆□□□

□□□

□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□

第３９回全国クレサラ・生活再建問題
被害者交流集会 in 埼玉

シンポジウム
反貧困の地方財政
自己責任社会を地域から転換しよう！

2019年11月2日 土 14:00-16:00

会場：埼玉県県民活動総合センター２Ｆ

社会保障の充実のためには、住民に身近なところでサービスを提供する地方自治体の役割がとても重要です。ところが、自治体の財政基盤は弱く、人口減少等により地方自治の危機が進行しています。自己責任社会を転換し、貧困と格差の拡大に歯止めをかけ、互いに支え合う社会を、地域レベルから構築する方法を考えます。ぜひ御参加ください。

参加無料
事前申込不要

講演

「地域から日本を変える！
―自治体と住民にできること―」

高端 正幸 氏(埼玉大学大学院人文社会科学研究科准教授)

パネルディスカッション

●パネリスト

藤田 孝典 氏(ほっとプラス代表理事)

大塚 信一 氏(滑川町総務政策課課長)

櫻井 卓 氏(北本市議会議員・元県税事務所納税担当部長)

高端 正幸 氏(埼玉大学大学院人文社会科学研究科准教授)

●コーディネーター

猪股 正 氏(弁護士・公正な税制を求める市民連絡会事務局長)

●埼玉新都市交通
ニューシャトルで大宮駅から内宿駅まで約25分。内宿駅から無料送迎バスで約5分、または、徒歩約15分
http://www.kenkatsu.or.jp/traffic/

◆本シンポジウムは、2019年11月2日(土)11:00～18:00開催の「ふれあい交流!知る!食べる!遊ぶ!」(場所:埼玉県県民活動総合センター(けんかつ))の分科会てす。ほかに、何でも相談会、自治体・民間団体による展示会、物産展、ステージイベント（伊奈学園総合高等学校音楽部による演奏会など）など。詳しくは https://www.saitama20191102.com/

【主催】全国クレサラ・生活再建問題対策協議会
【後援】公正な税制を求める市民連絡会／反貧困ネットワーク埼玉

お問い合わせ　弁護士　猪股正　埼玉総合法律事務所 TEL048-862-0355

□□□

11/2□□□□□□□□!□□!□□□!□□!□□□□□□□□

□330□0064□□□□□□□□□□□□7□12□1□□□□□4□□□□□□□□□□□□□
TEL□048-862-0342
FAX□048-866-0425

◆□□□□□□□2019□11□2□(□)11:00□18:00□□□□□□□□□□!□□!□□□!□□!□
(□□:□□□□□□□□□□□□□(□□□□))□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□

◆□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□3□□
□102-0085□□□□□□□□□15□□
TEL 03-3265-8119
●JR□□□□□□□□□□□□1□□
●□□□□□□ / □□□□□□□□□□□3□□

◆□□
□□□□□□□

◆□□□□□□□□
□□□□□□□□□□

◆□□□
500□□□□□□□□□□□□□□□

◆□□□□□□

◆□□
□□□□□□□□□□□□□□

◆□□□□□□
□□□□□□□
□□□□□□□□□□□7-12-1□□□□4□
□□□□□□□□□□
TEL□048-862-0355
FAX□048-866-0425

□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□**9:00□17:00**

□□□□□□□□**9:00□19:50**□□8□20□(□)□**9:00□17:00**
□□□□□□□□□**9:00□15:00**

□□□□□□□□□

□□□

▶□□□

公正な税制を求める市民連絡会

設立4周年記念シンポジウム

自己責任社会を変える財政を求めて

～少子高齢化社会からの問いかけ～

日時 2019年 **9/1(日)** 12:30 受付開始

会場 **主婦会館プラザエフ**
7階「カトレア」
●JR四ツ谷駅麹町口前(歩1分)
●地下鉄南北線 / 丸の内線四ツ谷駅(歩3分)

資料代：1,000円
※お支払いが難しい方は入場前にお声をおかけください。無料で資料をお渡しします。

金融庁が、6月3日、老後に備え、夫婦2人で2000万円程度の貯えが必要であるとの試算を示す報告書を公表しました。政府は、全ての世代が安心できる「全世代型社会保障への転換」を推進する方針を示していますが、老後に備え自分で2000万円もの資産形成に励むことを求める「全世代型社会保障」とは、どのようなものなのでしょうか。
少子高齢化社会が進み、財政難が強調され、自己責任を求める声が強まる中で、私たちの生活を守るためには、社会保障や財政はどうあるべきなのでしょうか。
みなさんと一緒に考えたいと思います。

プログラム

13:00 開始 ―― **総　会**

―― **シンポジウム**

1. **開会挨拶**　共同代表　宇都宮健児
2. **当事者報告**　保団連　中　重治氏
   FREE(高等教育無償化プロジェクトメンバー)
3. **基調講演**　講師　後藤道夫氏
   「全世代型社会保障と自己責任社会を考える」
   略歴　1947年福島県生まれ。一橋大学大学院単位取得。専攻は社会哲学・現代社会論。ここ十数年、現代日本の「構造改革」とその背景を中心に研究。都留文科大学名誉教授、他

―― **休　憩**

15:00
4. **パネルディスカッション**
   パネラー　後藤道夫氏(都留文科大学名誉教授)
   小野　浩氏(きょうされん常任理事・(社福)ウィズ町田・理事長)
   明石順平氏(弁護士)
   杉谷　剛氏(東京新聞記者)
   宇都宮健児氏(公正な税制を求める市民連絡会共同代表)
   コーディネーター　竹信三恵子氏(ジャーナリスト・和光大学名誉教授)
5. **公正な税制を求める市民連絡会の提言**
   弁護士　猪股　正

17:00 終了
6. **閉会の挨拶**

主催　公正な税制を求める市民連絡会　HP http://tax-justice.com/　facebook https://www.facebook.com/tax.justice.jp

連絡先　公正な税制を求める市民連絡会事務局
さいたま市浦和区岸町7-12-1　東和ビル4階　埼玉総合法律事務所　弁護士／猪股 正　TEL.048(862)0355・0246　FAX.048(866)0425

MEXPRX